

鷹栖神社へお花見【5月2日(土)】

例年より早めの桜前線に追われるよう、今年も皆様と鷹栖神社へお花見に行ってまいりました。この日はお天気にも恵まれ、桜吹雪が舞い、青空に映える桜のピンク色は、入居者様をとても喜ばせてくれました。境内では、順番にお参りを済ませた後、全員で記念撮影をして桜の下でおやつをいただきました。「外は気持ちがいいね～」「こんなにくれるの！（おやつを）」「あれ（桜の花）きれいでいたね～」と、思い思いの会話をはずませながら春のひと時を楽しみました。太陽の光を浴びて眩しそうな顔をされながらにこにこと「いいね～」と周りを見渡していた入居者様が印象的でした。



お誕生日おめでとうございます

5月11日 []さん



94歳のお誕生日

「100歳まで頑張る！」と、日頃から話されている[]さんに「5月11日は何の日でしたか？」と伺うと、笑いながら「私の誕生日だよ！」としっかりと答えられていきました。誕生会では、息子さんご夫婦の見守る中、皆さんからのプレゼントに「ありがとう」と言われ、包みの中の服を体に当てられ「似合っている？」と嬉しそうでした。

母の日【5月10日(日)】

日頃より沢山のご協力をいだいているお母さん達に、感謝の気持ちを込めてカーネーションを贈らせていただきました。施設長より「いつもお世話になりありがとうございます」とお伝えし、お一人ずつ

お花を手渡しています。皆さんにとても喜んでいただけたようで「こんな素敵なお頂いて～！」「めんこちやんだ～これ！（お花）」「すてきだね！」と言われ、嬉しそうに花の香りを楽しめている方もおりました。



朝は町内清掃、お昼は町内会の花見【5月10日(日)】



菜園の苗作り【5月10日(日)】



入居者様と一緒に町内のゴミ拾いを行いました。花の横の道から始め、裏の道を通りサテライト診療所を周り、花に戻ってきましたが、「あら～あるもんだね～」「いまどきゴミなんて捨てる人いるの？！」と会話しながらごみ袋にいっぱい拾い、花の周りがお陰様でスッキリと綺麗になりました。

お昼に町内清掃に参加した方が、町内のジンギスカンパーティーに参加いたしました。おにぎりと一緒にたべるお肉はとても美味しいようで、お腹がパンパンになるほどたくさん食べてしまいました。

『苗植えの会』に向けて野菜の苗づくりを行いました。入居様と一緒にポットに土を入れ、かぼちゃ・とうきび・いんげん・さやえんどう・えだまめの種を植える作業です。昨年も同じように作業をしているせいか、手際よく丁寧で、中には周りの人に教える姿もあり、進みも早かったです。出来上がったポットは、発泡スチロールの箱に入れ、毎日水をやり、朝晩にビニールシートを調節して、5月31日まで大切に育てています。



フラワーロード 花の苗のポット移植作業【5月18日(月)・19日(火)・20日(水)】

長年続いているフラワーロードに参加して、はや10年目となりました。このボランティアは春光台地区のメイン的活動にもなっており、歩道の花壇に植える花を手作り

しています。私たちはポットに土をつめてバットに40個並べ、その作業を繰り返し行います。毎年参加している入居の方々は要領も良く慣れた手さばきで「一生懸命やったから何も

考えなかったなあ～」と話されました。テントの中でたくさんの方々と楽しい会話を交わしながら和やかに三日間が終わっています。今年は47,000鉢を植えるそうです。

色とりどりのペチュニアの花の苗を用意しました。A・Bユニットそれぞれ入居者とスタッフが、プランターに好きな色の花を選んで植え、40鉢の花を名札とともに玄関に飾っています。来訪の折は是非ご覧ください。



ペチュニアの苗植え【5月24日(月)】

家族の会主催『苗植えの会』

今年の『苗植えの会』も、たくさんのご家族様のご参加とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。20日前に植えました種は、おかげ様で立派な苗に育ち、今年も昨年と同様に、すいか・かぼちゃ・とうきび・とまと・なす・ピーマン・しとう・いんげん・えんどうなど、皆さんのが喜んで頂ける苗を用意することが出来ました。この日は、残念ながら朝方の雨で畠の足

だな～と呟かれたお言葉はうれしいものでした。暖かな春の陽気の中、空の下でご家族様と食べるジンギスカンは最高に美味しかったようです。今日の苗は大きく育て、秋の収穫祭までたくさん楽しんで頂きたいと思います。

前日のマルチ張りと、『苗植えの会』終了後に苗植えのお手伝いをしていただきましたご家族様に感謝申し上げます。有り難うございました。



施設長コラム

先日札幌で集まりがあり、日本で初めてグループホームを開設した函館あいの里の林崎光弘さんとお昼をご一緒させていただきました。その時「認知症の方は精神病ではないのは当たり前の話ではあります、世の中では間違えた認識をする人も多

く、偏見や介護医療の専門家の中にもイメージがずれている方もいるのも事実です。私は認知症が病気に特性はあるものの、普通の方となんら変わらないと思っていました。認知症の方が過ごしやすい世の中が出来れば幸いです。

ともあれ、8年前初めて会った時は、ピクリとも笑わず鬼瓦のような顔で認知症介護について教えてくださった方でしたので、今気さくにお話が出来ることが嬉しい感じたひと時でした。